



第 23 号

平成 29 年 1 月

会長 岡本 諒

平成 29 年新年会 100 名が参加



北野中央自治会の新年会は1月22日(日)13時より北野連合会館にて行われました。会は阿部副会長の司会進行で進められ、恒例となった織田さん(2区7班)の詩吟「宝船」が披露された後、岡本会長の挨拶がありました。

会長からは「一年を振り返るとともに、今年はとり年にちなみ飛躍の年にしたい

旨のお話に加え、うれしいお知らせとして①荒木栄さん、信子さんご夫妻(1区5班)が16年ものの長きにわたりリングプルを集め、このほど車椅子を受け取ることが出来たこと、また、これを当自治会に寄贈していただいたこと。(詳細は3ページに掲載)②自治会としての防災活動の実績が評価され札幌市より平成28年度の防災表彰を受けることになったこと。(詳細は2ページに掲載)との紹介がありました。続いて来賓の紹介(藍原満北野まちづくりセンター所長、河本タカ子北野民生委員・児童委員協議会会長)のあと幡江せせらぎ会会長の乾杯の発声で宴は始まりました。

また、今年度新会員となった4家族のうち参加した3家族が紹介されましたが、いずれもお若い方々で高齢化が進む自治会にとって頼もしく感じました。

続いてのど自慢が次々登場、岡本会長が「ハニーナイツ ふりむかないで」の替え歌「振り込まないで」を歌って、振り込め詐欺への注意を促すと、阿部さんと表さんの名コンビ(北野キューピーマヨネーズ)が2年ぶりに復活し「麦畑」を熱唱、宴もたけなわとなりました。

さらに、柳沢副会長からは昨年に続いて「シルバー川柳」の紹介で笑いを誘い、圧巻は、恒例の自治会劇団による演劇。今年の出し物は尾崎紅葉の「金色夜叉」迷演技の連続で爆笑また爆笑でした。途中、クイズもあり、最後はお待ちかねのビンゴゲーム。

本当に、盛りだくさんの内容で3時間弱、参加者はさらなる懇親を深めました。



北野中央自治会

平成 28 年度 札幌市防災表彰を受ける

札幌市では自主防災強化のため、毎年、市民の模範となる活動を行った個人や団体を表彰しています。

阪神淡路大震災の翌平成 8 年に表彰要綱を改正、11 年度から町内会及び同連合組織を対象とした“防災表彰”を開始、毎年大震災を契機に設けられた防災とボランティア週間に表彰式を行い、昨年までに 182 団体が表彰されております。

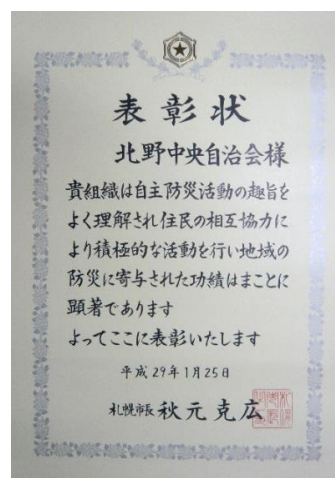
本年度の表彰式は、平成 29 年 1 月 25 日、札幌すみれホテルで開催され、12 団体、清田区からは北野地区では初めて北野中央自治会が表彰されました。

北野中央自治会は、平成 21 年に自主防災組織を立ち上げ、「自主防災活動内容」「自主防災組織図」や「北野中央自治会住居図（防災マップ）」を基に、災害発生時の対応や心得を実践できるよう、消防署員の指導による防災訓練を毎年実施して災害対応力の向上に高い意識を持って活動していること。

また、区役所職員の指導によるDIG（ディグ）（災害図上訓練）やHUG（ハグ）（避難所運営ゲーム）、医師による災害時の応急手当などの防災・減災に関する多様な訓練・研修等を継続実施して、自治会住民への防災意識の向上を図っていること。

さらに、災害時要配慮者への支援体制構築や見守り活動などにも日頃から取り組んでいることなどが評価されました。

挨拶された秋元市長からは、自主防災は日常の隣同士の顔の見える関係づくりが基本である旨のお話がありました。私たち自治会が日頃から実践している「小さなおせっかい」がまさにそれにあたる活動と思います。



新規会員のお知らせ

平成 28 年 10 月より 2 区 9 班に佐々木伸太郎さんが入居されました。
電話番号・・・・・・ これにより自治会総世帯数は 323 となりました。

合同（子供たちと高齢者）クリスマス会

12月10日（土）この時期としては29年ぶりの大雪に見舞われたこの日、北野中央自治会の子供たちと高齢者の合同クリスマス会が北野連合会館で行われました。

参加者は子供（小学生以下）が23名とその保護者及び高齢者合計55名が参加。

子供たちと高齢者は一緒に①お菓子釣り②玉入れ③輪投げ等のゲームを楽しんだ後、クリスマスケーキを食べながら休憩。その後ビンゴゲーム、最後は、青少年育成部長扮するサンタクロースからのプレゼントをもらい1時間30分ほどでしたが、盛りだくさんの内容で、子供たちも高齢者も大満足の様子でした。



人物紹介

荒木栄さん信子さん ご夫妻 1区5班



車椅子を自治会に寄贈

12月20日 荒木家に念願の車椅子が届けられました。アルミ缶のリングプルを700kgという気が遠くなるような量を集め、江別市野幌にあるリングプル再生ネットワーク事務局へ送ることにより立派な車椅子となりました。

きっかけは、平成12年栄さんが単身赴任から戻られ、何か地域に貢献したいとの思いから始められたとのこと。正に16年、ご夫妻の執

念の成果と言ってもいいでしょう。

一時はやめようかと思つたこともあつたそうですが、町内の多くの方の協力を得てそれがこのような形になったと顔をほころばせました。

おふたりは、町内でも屈指のオシドリ夫婦。夫婦春秋という形容が、とてもよくお似合いです。

車椅子の利用について 自治会の皆さんに有効に利用していただきたいと考えていますのでお気軽にお申し出ください。

但し、使用は、災害時や怪我をした時など一時的なものに限ります。

申込先： 福祉推進委員長 太田 真 宅 電話

保管場所： 荒木 栄 宅

運営委員長 一瀬ヒロ

地域力のあるまちづくり

北野中央自治会の皆様、あけましておめでとうございます。

今年も北野地区福祉のまち推進センターの事業に対し、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

昨年、年賀状の返事が来なかった友人が今年は年賀状をくれました。でもその年賀状はご主人が代筆したもので、「妻が認知症になりました。今は私がなんとか介護をしています。」とありました。

彼女は、ご主人の転勤で神奈川県相模原市の高層マンションに家族四人で引っ越して行きました。子どもたちもそれぞれに家庭を作り、家を出て、彼女一人夫の帰りを待つ暮らしに寂しさもあったようです。もともと出不精でご近所付き合いも苦手だった彼女でしたから、そんなこんなが重なって認知症を発症してしまったのかと思ひめぐらす三が日となりました。

中央自治会の皆様は、こんな時に心を許して話せるお隣さんやご近所に親しい友人はおられますか。男の方がやむなく介護や看護をせざるを得なくなると、ご近所の方々に家族の病状を話し、助けを求めたりすることはなかなか難しいようです。

でもそんな時大事なのが、ご近所の目なのです。

ご近所の方々が気付いて声をかける、「ご近所力」です。

自治会には会長さんがおられますし、福祉推進員長さんや民生委員さんもおられます。地域には私ども福祉のまち推進センターもあります。相談窓口はいくつも用意されています。行政や関係機関との連携をとれる仕組みになっていますので、いつでもお気軽にご相談ください。

先日、北海道新聞に個人情報保護法について記事が掲載されていました。改正法は、平成 29 年 5 月下旬からの施行となります。しっかり個人情報を守られる時が来たのだと思います。その反面、町内活動や福祉活動の後退が心配されます。こんな時こそ向こう三軒両隣、お互いが知り合い、支え合って災害などに備えなければなりません。

福祉のまち推進センターも、弱い人たちの立場に立って、丁寧に説明し、お互い了解を得ながら活動を進めてまいります。

毎月 3 日は見守りの日

北野地区福祉のまち推進センター
清田区北野 4 条 2 丁目 8-28
北野連合会館内 電話 011-885-0294

編集者 広報部 荒木貞一